

平成26年度

管内事業内容

〔県営事業〕

県営事業は総額7億1070万円で、地盤沈下対策事業（新潟南部8期地区）・流域水質保全機能増進事業（亀田郷第2地区）・基幹水利施設ストックマネジメント事業（亀田郷地区）・県営農業農村整備事業調査計画（亀田郷第2地区）を実施します。

地盤沈下対策事業は5億2000万円で、引き続き阿賀用水路の改修を進めるほか本年度より天野排水路（L＝668m）の改修に着手します。

平成20年度より海老ヶ瀬排水路と大湊排水路の改修を進めている流域水質保全機能増進事業は、計画どおりに進捗しており、本年度、事業費1億3800万円をもって事業が完了する予定です。

本年度より事業が実施される基幹水利施設ストックマネジメント事業は、丸山排水路・本所排水路・糸魚堀排水路（L＝4645m）の更新及び補修を行う事業です。本年度は事業費6200万円です。上記3路線の実施設計と丸山排水路の補修に着手する予定です。

同じく本年度より着手される県営農業農村整備事業調査計画では、阿賀用水路（小杉地内）の更新に向けた調査を2カ年かけて実施します。事業完了後には、この調査結果に基づいた水路整備を実施する予定です。

〔団体営事業〕

団体営事業は総額1億2419.5万円です。基幹水利施設ストックマネジメント事業（竹尾地区）・農業基盤整備促進事業（定額助成・亀田郷地区）・農業水利施設保全合理化事業（機能保全計画策定・亀田郷第2地区）（施設計画策定・小杉上地区、沢海揚水機場地区）・土地改良施設維持管理適正化事業を実施します。

本年度より着手する基幹水利施設ストックマネジメント事業（竹尾地区）は、竹尾揚水機場の主ポンプ2台のオーバーホールと大形用水路破損箇所の補修を事業費5000万円です。

本年度は事業費2500万円です。竹尾揚水機場のポンプオーバーホール1台と大形用水路の用水管補修1カ所を行います。

農業基盤整備促進事業（定額助成）については、平成25年度からの繰越分事業費4329.5万円です。水田の畦を取り除く区画拡大事業を291a、水田に暗渠排水路を設置する暗渠排水事業を2141aを実施し、田区単位の基盤整備を行います。

同じく平成25年度からの繰越となる農業水利施設保全合理化事業では、事業費1800万円です。路線（大形用水路、小杉用水路下流部、鳥屋野北部用水路、茅野山用水路下流部、西野支線1号排水路、姥ヶ山支線1号排水路、鍋湯支線1号排水路、茅野山支線1号排水路）の劣化状況を調査し、適切な整備内容と、その時期の把握を行うほか、事業費1650万円です。横越小杉上地区における用排水路の調査と沢海揚水機場樋門の調査を実施し、その後、この調査結果に基づいた施設の整備を図って行く考えです。

水路、鍋湯支線1号排水路、茅野山支線1号排水路）の劣化状況を調査し、適切な整備内容と、その時期の把握を行うほか、事業費1650万円です。横越小杉上地区における用排水路の調査と沢海揚水機場樋門の調査を実施し、その後、この調査結果に基づいた施設の整備を図って行く考えです。

そのほか土地改良施設維持管理適正化事業で木津揚水機場・大形揚水機場・二本木排水機場のポンプ各1台のオーバーホールを2140万円です。

〔受託事業ほか〕

機場関係では、新潟県農地部より親松排水機場の運転管理・除塵作業6692.2万円、新潟市より本所・蔵岡排水機場の運転管理1065万円を受託するほか、鳥屋野潟・栗ノ木川の浄化対策（フラッシング）事業を新潟県土木部より2106万円です。

そのほか新潟市の道路整備事業による用排水路の移設工事を4件、新潟市からの委託により実施します。

また農地・農業用水・土地改良施設等の地域資源を地域一体となって保全するため、多面的機能支払交付金事業を推進します。亀田郷管内における農地維持活動・資源向上活動への交付金額は合わせて1億8100万円を予定しております。

平成 26 年度 補助事業等事業実施計画

〔事業費は予定額〕

区 分	事 業 名	地 区 名	新規継続	実施年度	H25事業費 (千円)	負担割合（％）				概 要
						国	県	市	土 改	
県 営	地盤沈下対策事業	新潟南部8期	継続	H21～H27	502,000	55.0	39.0	6.0		阿賀用水路改修、天野排水路改修
	流域水質保全機能増進事業	亀田郷第2	継続	H20～H26	138,000	50.0	25.0	10.0	15.0	海老ヶ瀬排水路改修、大湊排水路改修
	基幹水利施設ストックマネジメント事業	亀田郷	新規	H26～H31	62,000	50.0	25.0	10.0	15.0	丸山・本所・糸魚堀排水路測量設計、丸山排水路改修
	県営農業農村整備事業調査計画	亀田郷第2	新規	H26～H27	8,700	100.0				地区調査阿賀用水路
団体営	基幹水利施設ストックマネジメント事業	竹尾	新規	H26～H27	25,000	50.0	25.0	10.0	15.0	竹尾揚水機場ポンプオーバーホール
	農業基盤整備促進事業（定額助成）	亀田郷	継続	H25繰越	43,295	100.0				区画拡大291a、暗渠排水2,141a
	農業水利施設保全合理化事業（機能保全計画策定）	亀田郷第2	新規	H25繰越	18,000	100.0				機能保全計画策定8路線
	農業水利施設保全合理化事業（施設計画策定）	小杉上	新規	H25繰越	10,500	100.0				施設計画策定小杉上地区
	〃	沢海揚水機場	新規	H25繰越	6,000	100.0				施設計画策定沢海揚水機場
	土地改良施設維持管理適正化事業	木津揚水機場	新規	H26	4,200	30.0	30.0		40.0	木津揚水機場ポンプオーバーホール
	〃	二本木排水機場	新規	H26	9,300	30.0	30.0		40.0	二本木排水機場ポンプオーバーホール
	〃	大形揚水機場	新規	H26	7,900	30.0	30.0		40.0	大形揚水機場ポンプオーバーホール
その他	国営造成施設管理体制整備促進事業	阿賀野川左岸	継続	H12～H29	18,820	50.0	25.0	25.0		強化支援費、予防保全経費
	多面的機能支払交付金（農地維持）（資源向上（共同））	東・中央・江南部会	継続	H26～H30	152,594	100.0				8工区（10組織）
	多面的機能支払交付金（資源向上（長寿命化））	東・中央・江南部会	継続	H26～H31	29,115	100.0				6工区（6組織）

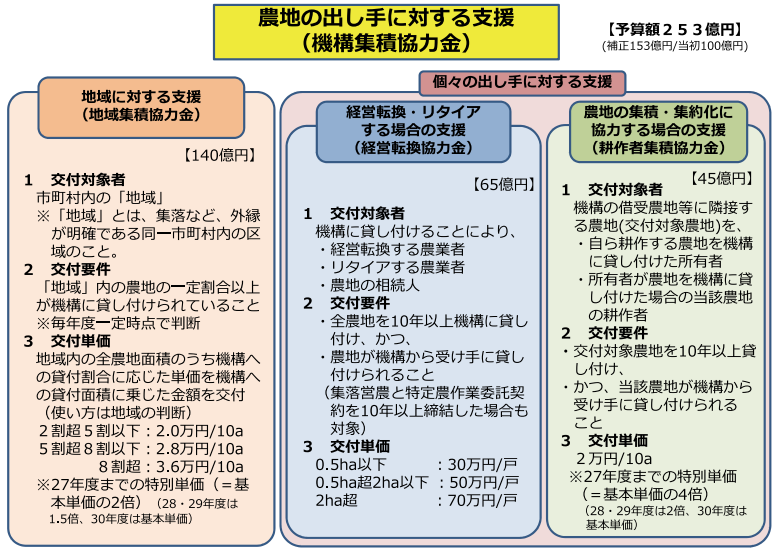
農地中間管理機構について

政府は昨年12月に、「農地中間管理機構の創設」、「経営所得安定対策の見直し」、「水田フル活用と米政策の見直し」、「日本型直接支払制度の創設」の4つの改革からなる新たな農業農村政策として「農林水産業・地域の活力創造プラン」を取りまとめました。

その中で特に土地改良区と関係する日本型直接支払（多面的機能支払）は、これまでの農地・水保全管理支払に、農家だけでも取り組める農地維持支払を加え新しい制度としてスタートします。亀田郷管内では、対象農用地面積を160ヘクタール増やして3,515ヘクタール、71集落で取り組み、農地中間管理機構は、担い手への農地流動化を進める画期的な手法として、都道府県に農地中間管理機構を整備します。

新潟県では、公募により公益社団法人新潟県農林公社が農地中間管理機構の指定を受け、市町村や農業委員会、農業団体に業務の一部を委託し一体となり活動を進めて行くことになりました。

表 1 農林水産省ホームページより



※ このほか交付事務費として3億円

営農を389から800に、担い手の利用する団地（連続して作業できる圃場）の平均面積を2倍に、遊休農地面積3,156ヘクタールを全てなくすことを目標としています。

田植えが終わり一段落したいま、各集落では、受け手農家と出し手農家とを結びつける人・農地プランの話し合いが開かれているのでないでしょうか。

農地中間管理機構に農地を貸し出すことにより地域や経営転換する農家などが支援を受けることが出来ます。（表1参照）また、土地改良事業でも同様に担い手へ農地集積することで交付金に加算される制度があります。

土地改良事業の立ち上げに当たっては、農地中間管理機構や各種事業制度の活用により、地元負担金の軽減を図ることが出来ますのでご相談下さい。